

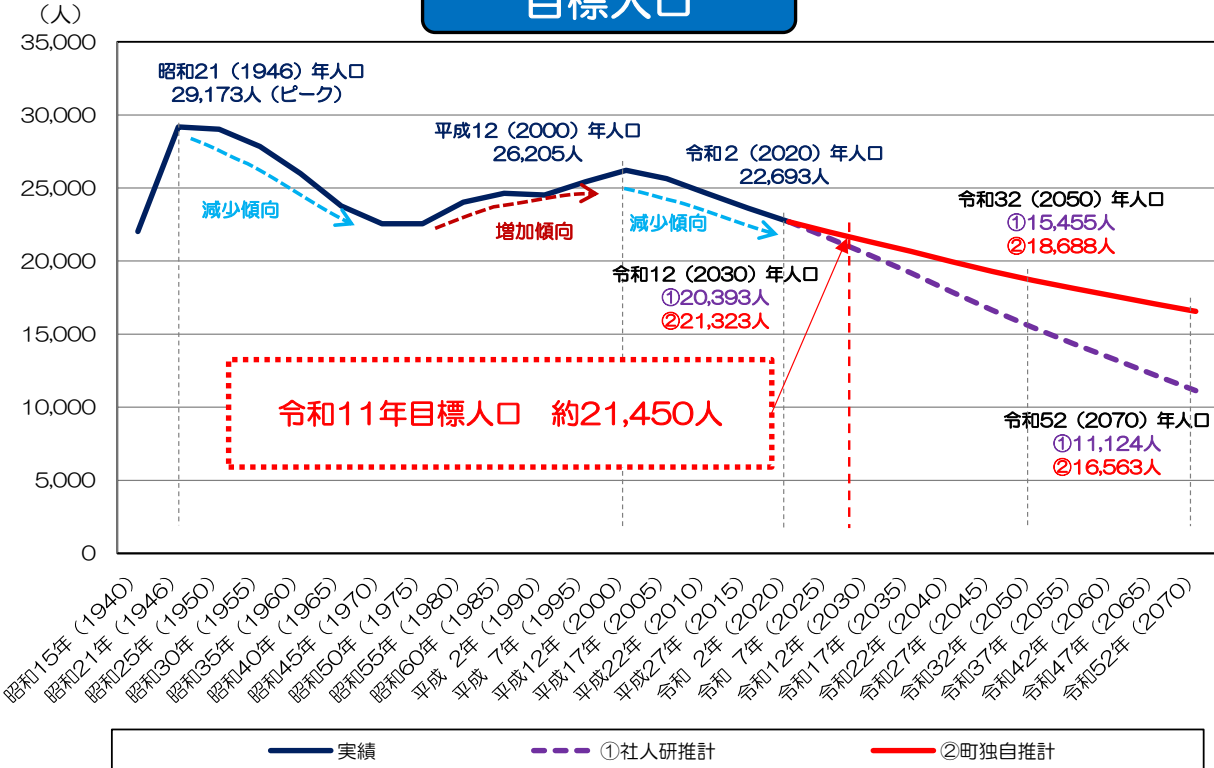
◆第3期の位置づけ

- 本町は、平成27年3月にまち・ひと・しごと創生法に基づく第1期「綾川町人口ビジョン」及び「綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年3月に第2期の計画を策定し、地域課題の解決や魅力発信に取り組んできたところです。第2期の計画期間の終わりを迎え、喫緊の課題である人口減少問題に対応し、地方創生を成し遂げるため、第3期「綾川町人口ビジョン」及び「綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。
- 人口減少を抑制し、本町における経済社会の創生を成し遂げるため、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023 改訂版）」に基づきながら、国、県、近隣自治体をはじめ、企業や住民とともに、危機感と問題意識を共有して、これら人口、経済、地域社会の課題に対して一体的・持続的に取り組むものです。

第3期綾川町総合戦略の基本目標

- ① 働きやすい環境を整え、誰もが活躍できるまちへ
- ② 誰もが住みたくなるまちへ
- ③ 結婚・出産・子育ての希望が叶うまちへ
- ④ 多様な人が集まる、魅力あるまちへ

目標人口



綾川町第3期総合戦略

●基本目標1：働きやすい環境を整え、誰もが活躍できるまちへ

数値目標		目標値（R7）	基準値（R2）
総人口に対する従業者数の割合を増加させる		48.0%	45.8%

施策	取組内容		
	取組内容	KPI※1 （重要業績評価指標）	目標値(R11) （単年・累計）
農業の収益性の向上	担い手の確保と育成	認定農業者数	100経営体(累計)
	耕作放棄地の解消による農地保全	耕作放棄地の面積	40ha(R11)
地域産業の活性化	新たな雇用の創出	実施事業における新規雇用人数	25人(R11)
	生成AIによるまちのDX化	生成AI活用研修の参加事業者数	20社(累計)
	町内での消費喚起に対する支援	換金率	100%(R11)
誰もが暮らしやすい環境と働きやすい環境の整備	地元就職の促進	新卒の地元就職者数	40人(R11)
	フロントヤード改革	オンライン申請をした件数（手続き総数に対する割合）	40,000件以上 (65.8%)(R11)

●基本目標2：誰もが住みたくなるまちへ

数値目標		目標値（R11）	基準値（R6）
転入超過者数（転入者と転出者の差）を増加させる		400人 （5年間の累計）	95人 （5年間の累計）
出生時より小学校入学時の人数を増加させる		40人	32人

施策	取組内容		
	取組内容	KPI （重要業績評価指標）	目標値(R11) （単年・累計）
「教育の町」の充実と発信	地域と連携した教育機会の提供	外部講師・教員以外の協力者数	30人(R11)
	学校施設環境の整備	空調設置校数（全6校）	6校(R8)
移住の促進	移住・居住・就業支援の充実	移住者数（県報告数）	150人(R11)
	外国人の受入れ体制の整備	人口に占める外国人の割合	2.5%(R11)
暮らしやすいまちづくりの推進	公共交通の利用促進	公共交通計画の利用客数	51,690人(R11)
		鉄道駅の利用客数	1,204,000人(R11)
	多様な移動手段の確保	町民アンケート「交通事情がよい」満足度	50.0%(R11)
	買物支援	E-Waの利用者数・売上額	20,000人(R11) 39,000,000円(R11)
	共生型の居場所づくり	共生型の居場所数	10か所(R11)
防災環境の向上	災害に対する安全性の向上	町民アンケート「安心・安全な生活ができる」満足度	60.0%(R11)
住環境の向上	良好な住環境の整備 山間部の環境、景観保全	新築・リフォーム補助金利用件数	75件(R11)
		山林の補助整備面積	20ha(R11)
		町道草刈事業申請団体数	46団体(R11)
健康づくりの推進	健康づくりの強化	健康づくり事業への参加者数	10,000人(累計)
		若い世代健診及び予防接種の受診率	若い世代健診15%(R11) 高齢者170%(R11)

【令和7(2025)年～令和11(2029)年】

●基本目標3：結婚・出産・子育ての希望が叶うまちへ

数値目標	目標値（R11）	基準値（R6）
婚姻数を増やす	310組 （5年間の累計）	303組 （5年間の累計）
出生数を増加させる	674人 （5年間の累計）	604人 （5年間の累計）

施策	取組内容		
	取組内容	KPI （重要業績評価指標）	目標値(R11) (単年・累計)
出会いと交流の場づくり	出会いの仲介に対する支援	かがわ縁結び支援センターの登録料補助件数	20人(累計)
安心して妊娠・出産できる環境づくり	妊娠前から出産期までの支援	施策に対する認知度（アンケート）	60%(R10)
	出産後の支援	施策に対する認知度（アンケート）	100%(R10)
安心して子育てできる環境づくり	多様なニーズに対応した子育て支援	施策に対する認知度（アンケート）	60%(R10)
		こども園の待機児童数（ゼロにする）	0人(R11)
	子育てに対する経済的支援	保育料第3子無償化の人数	60人(R11)
	放課後の子どもたちの居場所づくり	放課後児童クラブ待機児童数（ゼロにする）	0人(R11)
	子育て支援拠点の利用促進	子育て支援拠点の利用者数	11,000人(R11)

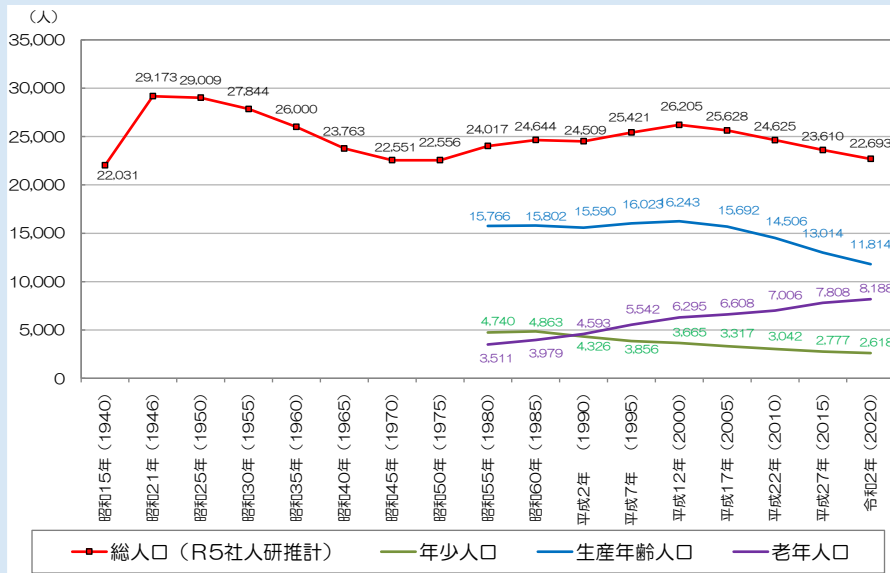
●基本目標4：多様な人が集まる、魅力あるまちへ

数値目標	目標値（R11）	基準値（R6）
進学時、就職時の移動数	145人 （5年間の累計）	-275人 （5年間の累計）
数値目標	目標値（R11）	基準値（R5）
観光客入込数	1,000,000人	669,947人

施策	取組内容		
	取組内容	KPI （重要業績評価指標）	目標値(R11) (単年・累計)
交流人口、関係人口の拡大	賑わい創出・拠点づくり	道の駅滝宮利用者数	790,000人(R11)
		道の駅滝宮売上高	1,000,000千円(R11)
		コトデン（綾川駅）利用者数	568,000人(R11)
	伝統文化の伝承	実施事業における来場者数	1,500人(R11)
	地域づくりの推進	地域運営組織の会員数（部会員数）	400人(R11)
綾川町の魅力発見と発信	町外への魅力発信の強化	情報発信ツールへのアクセス数	288,000件(R11)
		プレスリリース数	30件(R11)

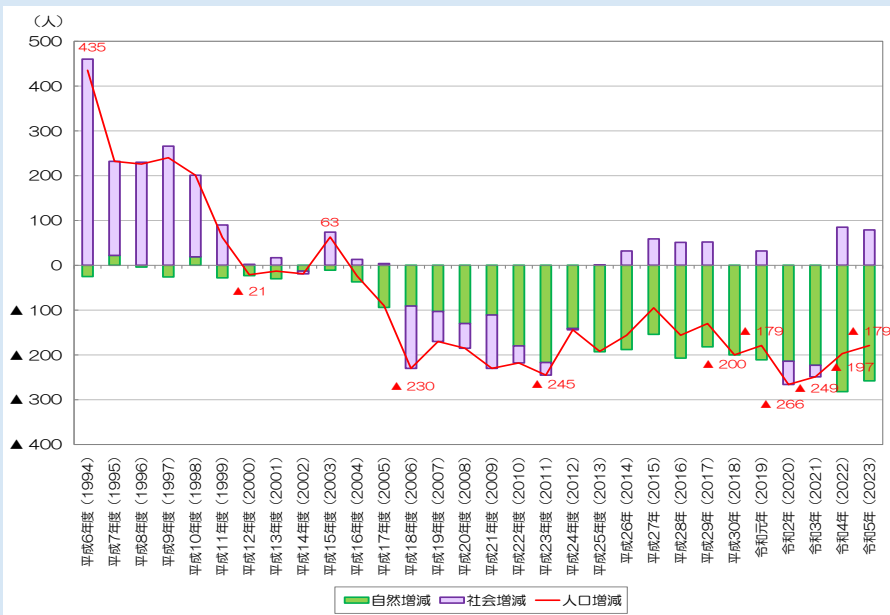
※1KPI：重要業績評価指標と呼ばれ、取組内容の達成の目安となる目標数値を定めたもの。

人口推移の状況



◆人口の推移

- 本町の総人口は、昭和21（1946）年の29,173人をピークに減少に転じ、昭和45（1970）年には、22,551人まで減少しました。その後人口は増加を続け、平成12（2000）年には26,205人に達しましたが、再び減少に転じ、令和2（2020）年は22,693人となっています。



◆人口の社会増減

- 平成18（2006）年に社会減に転じ、しばらく社会減が続いていましたが、近年は移動の均衡や社会増がみられます。最近の年代別の状況をみると、20歳前半の転出超過が続いていますが、子育て世代の転入がみられます。

◆人口の自然増減

- 平成11（1999）年度以降は、自然減の状態が続いており、近年は、自然減がますます顕著になっている状況です。
- 平成10（1998）年以降の合計特殊出生率※2は、概ね1.40程度で推移をしており、人口置換水準※3の2.07を下回っています。

※2 合計特殊出生率：合計特殊出生率は、「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

※3 人口置換水準：人口が将来にわたって増えも減りもしないで、親の世代と同数で置き換わるための大きさを表す指標であり、平成27年における日本の値は2.07である。